

2025年度 LDサポート・療育ソラアルSSE・PIA 放課後等デイサービス・児童発達支援ガイドライン自己評価表 まとめ

2026年3月5日

LDサポート・療育 ソラアルSSE
ソラアルPIA

(目的)

指定の保護者アンケートの結果より、当事業所のサービス提供上の満足度・不満足度および課題(改善目標)を抽出する。

(アンケート回収状況)

利用者への個人負担請求書にアンケートの趣旨・記入表を同封し、記入をお願いする。請求発生児童保護者ソラアルSSE全40名、ソラアルPIA全20名(SSEと両利用者含)へのアンケート用紙配布

●回収数 全27通/利用47名

放デイSSE/PIA共通	22通	児発SSEのみ利用	2通
放デイPIAのみ利用	2通	児発SSE/PIA共通	3通

(項目別の結果と課題)

A.【環境・体制整備面】

スペース・専門性・設備の安全性(①②③)に関して、放デイ/児発ともにほぼ好意的な評価を頂けた。

安全面に関しては、駅までの明るい道順での送迎、バス乗車の際の便名や乗車位置、服装などを職員間での共有の徹底を継続している。またバス利用者の保護者の方へは乗車時間の連絡を行っており、さらに見守りの体制が充実したものと考えている。駅前交番への事業所周知の継続などもあり、コメント面での不安意見は見られなかった。

B.【適切な支援の提供面】

放デイについて、「サービス計画」(④)、「活動プログラムの工夫」(⑤)に関しては、放デイ・児発とも利用者本人は楽しんでいるものの、内容を保護者に伝えるという点で別途方法を持つことを検討している。

「学校、他の療育機関、医療機関との連携」⑥について、登録利用者との人数対比で、全利用者に対して継続的・専属的な対応の困難さがあるが、提携クリニックや、学校、進学への関係実績など件数は前年までと変わらず増加しており、個人情報保護を徹底した上での内容面の掲示・告知などの方策は必要かも知れない。

C.【保護者への説明等の面】

支援内容や制度の仕組み等についての説明(⑦)や状況や課題の伝達、対話(⑧⑨)については、昨年までも見られていた「どちらともいえない」票が微増となっているが、概ね満足との回答であった。困りごとがある場合の対応を重視しているために個別の印象に違いがあると思われる。また保護者同士の連携(⑩)については、各家庭に合わせた対応に努めており、上記Bの⑥に類似した状況と考えられる。今後も保護者支援の一環として柔軟に継続、対応していきたい。

D.【非常時等の対応面】

災害時などの緊急時の対処の仕方や、訓練(⑮)に関しては、本年1月に避難訓練を行った。今後はより多くの利用者が参加できる形を模索していきたい。

「感染症配慮」に関して(⑯)は、ほぼ対策の認知が継続されていると考えられる。換気面、マスク着用、人身密度への配慮、衛生用品や空気清浄機等の設備面、感染者発生時の説明等、ここはしっかり行っているとの自負もあり、素直に受け止めたい。

E.【満足度面】

子どもの通所楽しみ(⑰)は、ほぼ満足、との回答であった。ただし、一部で、なかなか場所に馴染んでもらえなかったり、通所に関して中断となった利用ケースも把握しており、このようなケースへの対応については引き続き丁寧に取り組んでいきたい。

※ 別設問として「2026年4月以降の利用希望」を設けているが、全て「利用継続」の回答であった。

【まとめ】

当施設が第一義で考えている「子どもが楽しみに通所しながら向上してゆく」に関する評価は引き続き得られているように見受けられる。

主に保護者の方個々とのコミュニケーション面のへ配慮や運営説明について頻度を増やした実績が、回答に反映されていると考えられる。なお引き続きコロナ禍からほぼ通常の活動に戻りつつある中で、課題に関しては、再度のブラッシュアップを意識していく。